

# コベルコ建設機械ニュース



File.39

歴史的建造物誕生の秘密を探る!

## 青井阿蘇神社

# 「相良700年」を象徴する歴史的建造物誕生の秘密を探る！ File.39

## 人吉球磨の国宝建築

# 心が残した青井さん

砂山幹博 文田中勝明 撮影

熊本市から南へ80km。宮崎と鹿児島の県境もほど近い九州山地の南端、人吉盆地にその神社はある。江戸の初期、ほぼ同時期に建てられた社殿群が現在まで残り、2008年に青井阿蘇神社の楼門、拝殿、幣殿、本殿の5棟は国宝に指定された。この地方特有の急勾配の茅葺き屋根を継承しつつ、桃山様式の華麗な装飾技法を取り入れた統一感のあるたたずまいは建築としての完成度も高く、近世の人吉球磨地方における社寺建築の手本となつたことが評価されたかたちだ。

それにしても山深い人吉（）

して庇護を受けるようになつた。現在の社殿は人吉藩主で相良家20代目の相良長毎が、文禄の役（1592～93年）で朝鮮へ出兵する際に戦勝祈願し、その願いが叶つたことで寄進されたもの。1609年から18年にかけて造営された。

屋根の棟が高く勾配が急な茅葺き屋根をいたなく寄棟造の楼門は、千本まで含めると高さ約15m。大きく垂木が反り返る鎌倉時代の禅宗様が色濃い建物だ。楼門の先には拝殿と幣殿の茅葺き屋根が連なり、奥に銅板葺きの本殿が構える。

大部分が色あせているが、どの建物も全体に黒漆、細部の木組みに赤漆、建物の内外に配された細密な彫刻は極彩色で彩られ、各所に装飾が施されている。当時の先端、豪華絢爛の代名詞である桃山様式が用いられていいのだ。「漆一升、金一升」といわれた時代、高価な漆が建物全体に惜しみなく使われたことである。藩の財政は豊かだったはずと、青井阿蘇神社の宮司、福川義文さんは話す。

「人吉藩は2万2千石と小藩ながら、球磨川流域に開けた稻作には理想的な場所。公称の約

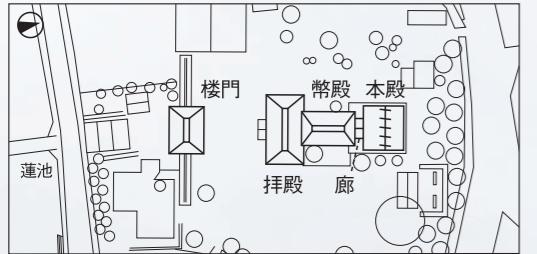
2・5倍の石高があり、貴重な米を原料に球磨焼酎を生産できるほどの米どころでした。そして何よりも戦乱や国替えもないう約700年間、相良氏の統治が続いたので蓄えも相当あつたと思われます」

領主の異動がない。実はこのことが、社殿が今日まで残った理由の一つである。

古いものが残る秘密。

長期の統治と寛容の心

戦国時代や江戸時代は、下克上やお家断絶、藩主の国替えが頻繁にあつた時代。ある一族が同じ地を長期間統治することは珍しく、薩摩の島津氏、対馬の宗氏など数えるほどしか例はない。統治者が変わると、ことは、家臣やその家族、町人を引き連れてやつてきて、町の顔ぶれが一変するということ。神社仏閣にとつては有力な支援者が去り、建物の造営・修造に携わってきた職人の仕事が奪われる危機であった。運が悪ければ、土地の文化や風習とともにどう



南側から樓門、拝殿、幣殿、廊、本殿と縦一列に並ぶ配置は、人吉球磨地方にも例がない



この地でしか味わえない、その場所だから  
楽しめる情報をお届けします。

---

人吉編



この地でしか味わえない、その場所だから  
楽しめる情報を届けします。

人吉編



栗めし

人吉駅弁やまぐち

0966-22-5235

栗をかたどったかわいらしい容器のお弁当。フタを開けると、炊き込みご飯の上に大粒の栗がゴロゴロと5つ。ほっくりと甘く、塩味のきいたご飯との相性もぴったり。お煮しめや玉子焼きなどのお惣菜も作りが丁寧で、温もりを感じせる。1965年に登場して以来、強い人気を誇るこのお弁当、人気駅の駅前店舗や駅売店で入手できるが、運がよければ、駅構内で「ち売りさんからも購入できる。」これぞ駅弁、という醍醐味を味わいたいならぜひ！（1,100円・税込み）



焼酎もなか



ウンスンカルタ体験

立山商店

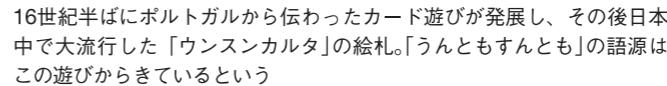
0966-22-2566



幣殿上部の柱間には細密な彫刻が刻まれている。建物上部に、青、緑、赤で彩られた格狭間（こうざま）と呼ばれる模様があるのは、人吉球磨地方独特のもの



が大なかいた仰徳をし  
物の形を変えてしまうようなこ  
ともなかつた。先人たちが大事  
にしてきたものだから大切に扱  
うという心が藩主にも民にも  
あつたのでしよう」（福川さん）  
「青井さん」と呼ばれ親しまれ  
てきた神社が国宝に指定された  
ことで、地域住民の意識は変  
わつたと福川さんは言う。この  
青井阿蘇神社だけではなく、自  
分の家の周りの神社も大事にし  
ようという気持ちが芽生えたよ  
うだ。人吉球磨地方に継承され  
青井阿蘇神社を守ってきた「心」



1. 本殿前、向かい合わせの龍柱は南九州の神社の特徴で、青井阿蘇神社のものはその先駆け 2. 楼門の四方にある二対の鬼面。古い時代の名残で「人吉様式」と呼ばれる 3. 彫金が施された錫（かざり）金具は社殿の広範囲で確認できる 4. 大きく反り返った垂木など、楼門には鎌倉時代に大陸から持ち込まれた禅宗様が色濃いが、彩色や絵画、木彫や錫金具などの豊かな装飾は明らかに桃山様式だ

機は訪れず、むしろ統治以前の文化風習は寛容に受け入れられた。青井阿蘇神社の社殿に古い時代の建築様式が見られるのも、熊本県内の指定文化財の三分の二が人吉球磨地方に集中しているのも、相良氏が地域の人々が大事にしていたものを奪わず保護してきたからにほかならない。

吉球磨地方にだけ残り、今日まで遊び継がれている。このことから庶民の娛樂にも寛容だった相良の殿様の姿勢がうかがえる。

たことは推測できる。  
社殿群は幸いなことに火事や  
自然災害に遭うこともなく、約  
400年の間に最低14回の修  
理が行われ現在に至る。その修  
理も、旧社殿の建築技法で行わ  
れ、部材も可能な限り再利用し  
て変化は細部にとどめられた。  
「歴史の中で大きな波風が立た  
なかつたということも、昔の姿  
が守られた大きな理由だと思いま  
す。特別裕福な地域ではな  
かつたし、大成功を収めた人物

## 歴史的 建造物誕生の 秘密を探る！

機は訪れず、むしろ統治以前の文化風習は寛容に受け入れられた。青井阿蘇神社の社殿に古い

吉球磨地方にだけ残り、今日まで遊び継がれている。このことから庶民の娯楽にも寛容だった



3  
1.キャブからの下方視界を確保するためメッシュ状にした足場。キャブへと昇降しやすいよう、階段の角度と幅にもこだわって設計されている 2.マグネット用の操作レバーは、乗降時の妨げにならないよう可動する 3.4.キャブのアイポイントは5.8m。船の荷台の底近くまで見渡しながらの作業が可能だ



リフティングマグネットを装備し、パワフルに運搬作業をこなすBM800G

オペレータの平野勝美さん。「旋回時はもちろん、走行時も振動を感じません。椅子の座り心地が良いので疲れにくく、乗っていてとても楽ですね」



任者の三輪照夫さんによると、  
港湾荷役作業における現場責  
任者の三輪照夫さんによると、  
こだわりのカスタマイズで  
完成度の高い仕上がりへ

「16年9月、今まで使用していた他メーカー機との入れ替えで導入したBM800Gは、当社初のコベルコ製クレーンです。これまでコベルコ製クレーンの導入実績はありませんが、こちらからの要望にきめ細かく応えてくれる対応力が決め手となり、導人を決定しました」(千葉さん)

「ハイキャブ仕様に関しては、フルパワー時にキャブの揺れもなく、完璧な仕上がりです。また、充分なパワーの維持と、発電機のコンパクト化を両立した

港湾荷役作業における現場責任者の三輪照夫さんによると、  
こだわりのカスタマイズで  
完成度の高い仕上がりへ

を展開しています。そのなかで、創業の地である清水港の袖師第一埠頭にて船舶貨物の積み降ろしなどの港湾荷役作業を手がけるのが、当社の業務です」

東海埠頭では、これまでに合板、製材、アルミ、チップ、自動車、コンテナ、穀類、冷凍魚など、多岐にわたる貨物を扱ってきたが、近年は、県内各地の工場や建設現場から出る鉄スクラップの取扱量が増えていると

いう。トラックで運ばれてくるそれらを、荷台から降ろして船へと積み込む役割を担っているのが、コベルコのクローラクレーンBM800Gだ。

「16年9月、今まで使用していた他メーカー機との入れ替えで導入したBM800Gは、当社初のコベルコ製クレーンです。これまでコベルコ製クレーンの導入実績はありませんが、こちらからの要望にきめ細かく応えてくれる対応力が決め手となり、導人を決定しました」(千葉さん)

「ハイキャブ仕様に関しては、フルパワー時にキャブの揺れもなく、完璧な仕上がりです。また、充分なパワーの維持と、発電機のコンパクト化を両立した

港湾荷役作業における現場責任者の三輪照夫さんによると、  
こだわりのカスタマイズで  
完成度の高い仕上がりへ

「16年9月、今まで使用していた他メーカー機との入れ替えで導入したBM800Gは、当社初のコベルコ製クレーンです。これまでコベルコ製クレーンの導入実績はありませんが、こちらからの要望にきめ細かく応えてくれる対応力が決め手となり、導人を決定しました」(千葉さん)

「ハイキャブ仕様に関しては、フルパワー時にキャブの揺れもなく、完璧な仕上がりです。また、充分なパワーの維持と、発電機のコンパクト化を両立した



ハイキャブ仕様に加え、アタッチメントにリフティングマグネットを装備したBM800Gは、港湾荷役現場における鉄スクラップの運搬に最適化されている



## コベルコ現場最前線 REPORT

山田高弘 // 取材・文 関根則夫 //撮影  
text by Takahiro Yamada / photographs by Norio Sekine

# 現場の声から生まれた ハイキャブ仕様クローラクレーンBM800G 港湾荷役の作業性向上

## 現場への最適化を目指し コベルコのクレーンを初導入

東海埠頭は、2000年を超える歴史を持つ鈴与グループの一員として1973年に設立された。この鈴与グループは、タマイズを施した。

現在、鈴与グループは、静岡を基点に国内外をカバーする物流、エネルギー販売をはじめとする商流、エンジニアリング、警備、食品、情報、航空、地域開発・その他サービス分野にいたるまで、約140社のグループ企業が幅広い事業

●今回の訪問先は  
東海埠頭株式会社  
所在地／静岡県静岡市  
清水区横砂408-13  
☎054-364-1872  
創業／1973年  
事業内容／港湾荷役事業、  
防除業、船舶代理店業、冷  
凍貨物取扱事業、港湾運送  
関連事業、計量証明事業  
従業員数／226名



港運部部長  
三輪照夫さん

取締役  
千葉和史さん

リフティングマグネットは、私たちの期待以上の成果を上げてくれました。メーカーを変えたにも関わらず、現場のオペレーターから使いにくいという声は一切なし。作業効率は大幅に向上了な」(三輪さん)

東海埠頭が導入したコベルコのハイキャブ機は、すでに鈴与グループ内でも評判は上々。同じように清水港の各埠頭で港湾荷役業を営むグループと同様に、清水港の各埠頭で港湾荷役業を営むグループ企業からの問い合わせも届いています。本州の真ん中に位置するこの港から日本全国の港へ。高い完成度と柔軟な対応力で、コベルコのハイキャブ機が



## 建設現場のICT導入の舞台 いよいよ「陸」から「海」へ

日経コンストラクション  
2016年12月26日号

建設業界のキーワードとして近年注目されてい

るICT(Information and Communication Technology) = 情報通信技術)。これは、調査・

設計から施工、修繕にいたる一連の流れをより合理的にするための取り組みだ。

これまでGNSS(全球測位衛星システム)やTS(トータルステーション)、3次元CAD、

ドローンなどを活用したICT導入を中心として土木工事分野では進められてきたが、その動きが、いよいよ「陸」から「海」へと広がりそうなのである。

「国土交通省は12月1日、ICTを活用した浚渫工事を2017年度から試行する方針を示した」(日経コンストラクシ

ョン2016年12月26日号より)。「土木工事で先行した生産性向上の取り組み『i-Construction』を、港湾工事にも展開していく」(同)という。

国交省は16年6月に専門委員会を立ち上げ、港湾工事でのICT導入基準の整備や標準化

の議論を開始。

同年12月には、

3次元データの活用を基本とする測量・

設計・施工・

検査、それぞれの技術基準も整備し素案を示した。

その新基準の1つが「マルチビームを用いた深浅測量マニュアル」だ。従来、浚渫工事の測量ではシングルビームを使って水深図などの2次元図面を作成するのが一般的だったが、マルチスナウジ複数のビームを利用して3次元測量を行えば、測量から維持・管理まで一連のプロセスでデータ活用ができる。

素案では、マルチビームを使つた測量やデータ処理方法についての基準を示している。さらにはマルチビームの使用料を反映した積算基準も作成。3次元データを使った測量計算による出来形管理や監督・検査基準

も整備するという。17年度の試行は、比較的大規模な国交省直轄の浚渫工事の現場が対象だが、順次、防波堤などの構造物の工事や維持管理などについても基準が検討される見通しだ。つまり港湾に関するあらゆる工種でICT導入が進んでいくことになる。

人手不足や予算の縮小など厳しい現実に直面している建設業界。これを乗り越えるだけの生産性向上を目指す切り札がICTだと言えるだろう。最新技術に目を配ると同時に、新たな流れに対応できる人材の育成にも力を注ぐ機会が来ている。

クイズを解けば  
“いま”が分かる  
この記事に  
注目!

近頃気になる日経BP媒体の記事をピックアップ。その報道の背景にある「時代性」を探るコーナーです。まずはクイズに挑戦! 答えは解説文中にあります。楽しみながら“現代を知るヒント”を探してみませんか?

## Q1.

### 国土交通省が2017年度から試行する ICT活用の工事分野は?

- a. 森林工事 b. 山岳工事 c. 河川工事 d. 港湾工事

経済ジャーナリスト  
和上 陽子

東京外国语大学卒業後、日本経済新聞社に入社。日経ホーム出版社(現在の日経BP社)月刊誌「日経マネー」の編集を経て、退社。独立後は、経済・金融の各種専門誌などに寄稿するなど、経済ジャーナリストとして活躍中



## 文具・事務機器メーカーのコクヨが提唱する オフィス整理術。「理想の机」のあり方はどれ?

- a. スナックのレジ b. すし屋のカウンター  
c. コンビニの陳列棚 d. ハンバーガー店のキッチン

オフィスの整理……、理想の机は?  
「片付ける」の先に「整える」

まず正直に答えていい  
ただきたい。今、オフィスのあなたの机はどうなっているだろうか。「机上にはペン1つない」「マグカップとスマホさえ片付ければ完璧」。それでも、「今日のプレゼン資料が行方不明で検索中……」か。

文具・事務機器メーカーのコクヨが提唱するオフィス回りの整理術「コクヨ式」によれば、これらはいずれも不合格だろ。

「仕事場の理想は『**し屋のカウンター**』。寿司ネタや道具などが整然と置かれ、職人の所作にムダがない」(日経トレンディ2017年1月号より)。これは同社の主幹研究員・齋藤敦子氏の言葉だ。

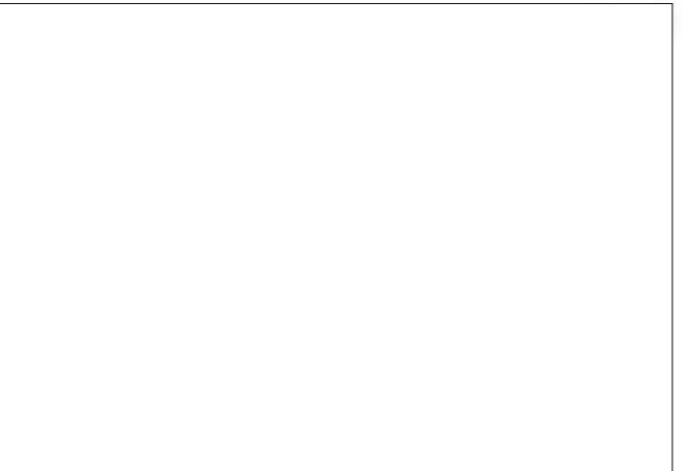
なるほど、すし屋のカウンターにはいろいろなものが並んでいるが、どれも客のオーダーに応えてパッと手に取りサッと握って提供するためのものだ

は引き出しの使い方。まず「1段目に文具」。ただし常に使う文具は机の上に出しておき、その後に使うものほど手前にならなければいけない。「あのネタは冷蔵庫だけだ」「あのネタは冷蔵庫だけ?」などとウロウロする職人

は意外とシンプルだ。基本的な整理は、机の上に出しておき、その後に使うものほど手前に置くのがコツだといふ。

さて、「コクヨ式」の整理の何が入れなければならないと思つ必要はなく、ノートPCの借り置き場所は机の上に出しておき、それから回ってくる書類などを収める「共有部」にするのも手だ。

もう一つ、「コクヨ式」が提唱するのは、机の上に出しておき、立派な仕事をできるわけではない。ただ、仕事を意識した机の整理は、オフィス全体の生産性アップにつながるかもしれない。



日経トレンディ 2017年1月号



平戸孝之=イラスト  
Illustration by Takayuki Hirata

## Q2.

### 文具・事務機器メーカーのコクヨが提唱する オフィス整理術。「理想の机」のあり方はどれ?

- a. スナックのレジ b. すし屋のカウンター  
c. コンビニの陳列棚 d. ハンバーガー店のキッチン

「仕事場の理想は『**し屋のカウンター**』。寿司ネタや道具などが整然と置かれ、職人の所作にムダがない」(日経トレンディ2017年1月号より)。これは同社の主幹研究員・齋藤敦子氏の言葉だ。

なるほど、すし屋のカウンターにはいろいろなものが並んでいるが、どれも客のオーダーに応えてパッと手に取りサッと握って提供するためのものだ

は引き出しの使い方。まず「1段目に文具」。ただし常に使う文具は机の上に出しておき、その後に使うものほど手前に置くのがコツだといふ。

さて、「コクヨ式」の整理の何が入れなければならないと思つ必要はなく、ノートPCの借り置き場所は机の上に出しておき、それから回ってくる書類などを収める「共有部」にするのも手だ。

もう一つ、「コクヨ式」が提唱するのは、机の上に出しておき、立派な仕事をできるわけではない。ただ、仕事を意識した机の整理は、オフィス全体の生産性アップにつながるかもしれない。



### 北米Gシリーズが立ち並んだ クレーンブース

屋外の「Gold Lot」ゾーンに設置されたクレーンブース。ここでは北米Gシリーズから、日本での排出ガス2014年規制に相当する「Tier4 final」に対応した「110USトンブリCK1100G-2」、「160USトンブリCK1600G-2」、さらに「275USトンブリCK2750G-2」の3モデルを展示しました。

実機のほかにも、アメリカの現地法人が独自に制作したトレーニング用のシミュレータキャブを、前回から継続して展示。来場された方々には、実際のキャブに座り操作体験をしていただきました。期間中は天候にも恵まれ、世界各国の方にコベルコのクレーンをPRできました。

3.CK1100G-2、CK1600G-2、  
CK2750G-2の3モデルの実機  
を展示 4.操作体験が好評だっ  
たシミュレータキャブ



1.期間中にはお客様への譲渡式も実施  
2.お子様にも楽しんでいただけました!

Wind 1 from  
アメリカ  
USA

### 世界三大建機展の1つ、 「ConExpo-Con/Agg 2017」に出展！

2017年3月7~11日の5日間、アメリカのラスベガスで「ConExpo-Con/Agg 2017」が開催されました。3年ごとに行われ、世界各国から2,500社以上が出展、約13万人以上の来場者でぎわう世界最大級の建設機械展示会。コベルコ建機の米国現地法人Kobelco Construction Machinery U.S.A.Inc.はCNHとの提携解消後、「Genuine KOBELCO」(純正コベルコ)として2度目のブース出展をしました。

ショベルとクレーンはそれぞれ屋内外にブースを設置。実機やシミュレータの展示をはじめ、さまざまなイベントでコベルコの最新機と技術をPRしました。会場には、北米に限らず世界中から多くのお客様や代理店の方々がご来場。日本からもたくさんのお客様にお越しいただき、ブースは連日大盛況。家族連れのお客様も多く、展示機の前や運転席に乗って記念撮影をするなど、コベルコブースは和気あいあいとした雰囲気に包まれていました。

また、各国のマスコミ関係者を集めたプレスイベントも開催。ショベル・クレーンの各新機種の紹介はもちろん、北米新工場をベースに、今後ますますアメリカ市場において成長を目指すことを宣言しました。

### 世界に誇る最新技術を結集した ショベルブース

屋内のショベルブースは、星条旗をモチーフにして装飾。「BUILT LIKE NO OTHER」をコンセプトに、他社にはないコベルコ独自の製品・最新技術を訴求しました。ブースでは、SK350LCなどの10型ショベルを筆頭に、SRシリーズやミニショベル、解体機など幅広いラインアップの計21台を展示。なかでも注目を集めたのが、特別仕様にラッピングされたSK210LC-10と、本物の自動車と組み合わせた斬新な方法で展示された自動車解体機SK210D。同機の前では、多くの方が記念撮影をしていました。

また、3D情報化施工機器を搭載したSK300LCの実機展示とシミュレータで、情報化施工への対応力をアピール。さらに、幅広いディーラネットワークを活かしたアメリカにおける強固なサポート体制もPRし、「アメリカに根付いた歴史ある企業である」というメッセージを発信しました。

そのほかにも、ゲームコーナーやグッズ販売など家族で楽しめるアトラクションを用意。コベルコが誇る最新技術を目の当たりにできるコベルコブースは、主要建機メーカーが並ぶ「North Hall」でも抜群の存在感を放ち、3万8000人以上の来場者数を記録しました。



[コベルコの風]

日本全国、そして世界各国での  
コベルコの活動をリポート！

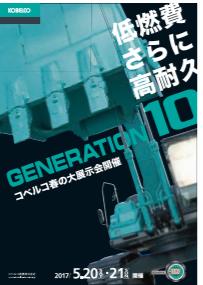


Wind 2 from  
福岡  
Fukuoka

### 西日本コベルコ建機小倉工場で、 春の大展示会開催決定！

西日本コベルコ建機小倉工場にて、5月に春の大展示会が開催されます。最新のホルナビ搭載機、ハイブリッド機、eマグ搭載機をはじめとした多数の実機展示やデモンストレーションなど、見応えのある企画をご用意しています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

[開催概要]  
日時:2017年5月20日(土)10:00~17:00  
21日(日)9:00~16:00  
会場:西日本コベルコ建機(株)小倉工場  
福岡県北九州市小倉北区西港町89-5  
093-591-3751



1.多くの来場者でぎ  
わうコベルコのショベ  
ルブース 2.測量機器  
メーカーのTrimble社と  
タイアップした3D情  
報化施工機器搭載の  
SK300LCの展示



6.展示会特別仕様ラッピングのSK210LC-10  
は、北米新工場での組み立て第1号機